

# 総務教育常任委員会資料

## 調査事件2 所管関係施設・事業等の町内視察、 執行方針の取り組みについて

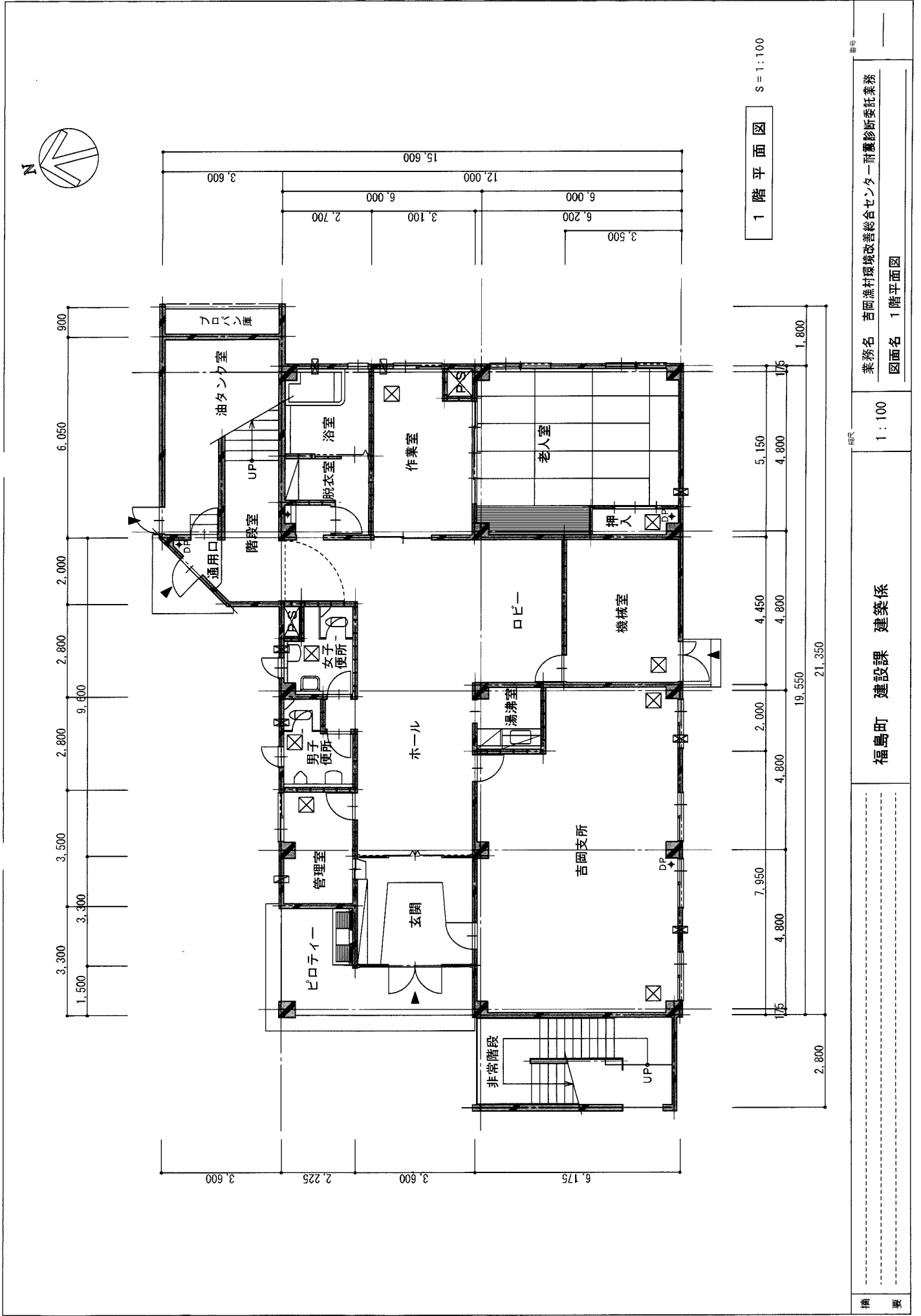
1	所管関係施設・事業等の町内視察	2
2	執行方針の取り組み状況	8
3	工事等一覧表	22

## 1 所管関係施設・事業等の町内視察

令和5年10月31日(火)

予定時間	地区	調査項目(事業)	担当課	資料
10:00		開会		
10:10		役場前出発		
10:20	館崎	吉岡漁村環境改善総合センター (文化財保管状況)	教育委員会 生涯学習係	3
10:35	吉岡	吉岡小学校(文化財移設状況)	教育委員会 生涯学習係	19
10:50	吉岡	旧美山教員住宅改修事業	教育委員会 生涯学習係	6
11:10	月崎	福島小学校(授業見学・南側校舎)	教育委員会 学校教育係	
11:40		役場到着		

予定時間	調査項目(事業)	場所
13:00	検討会	議場



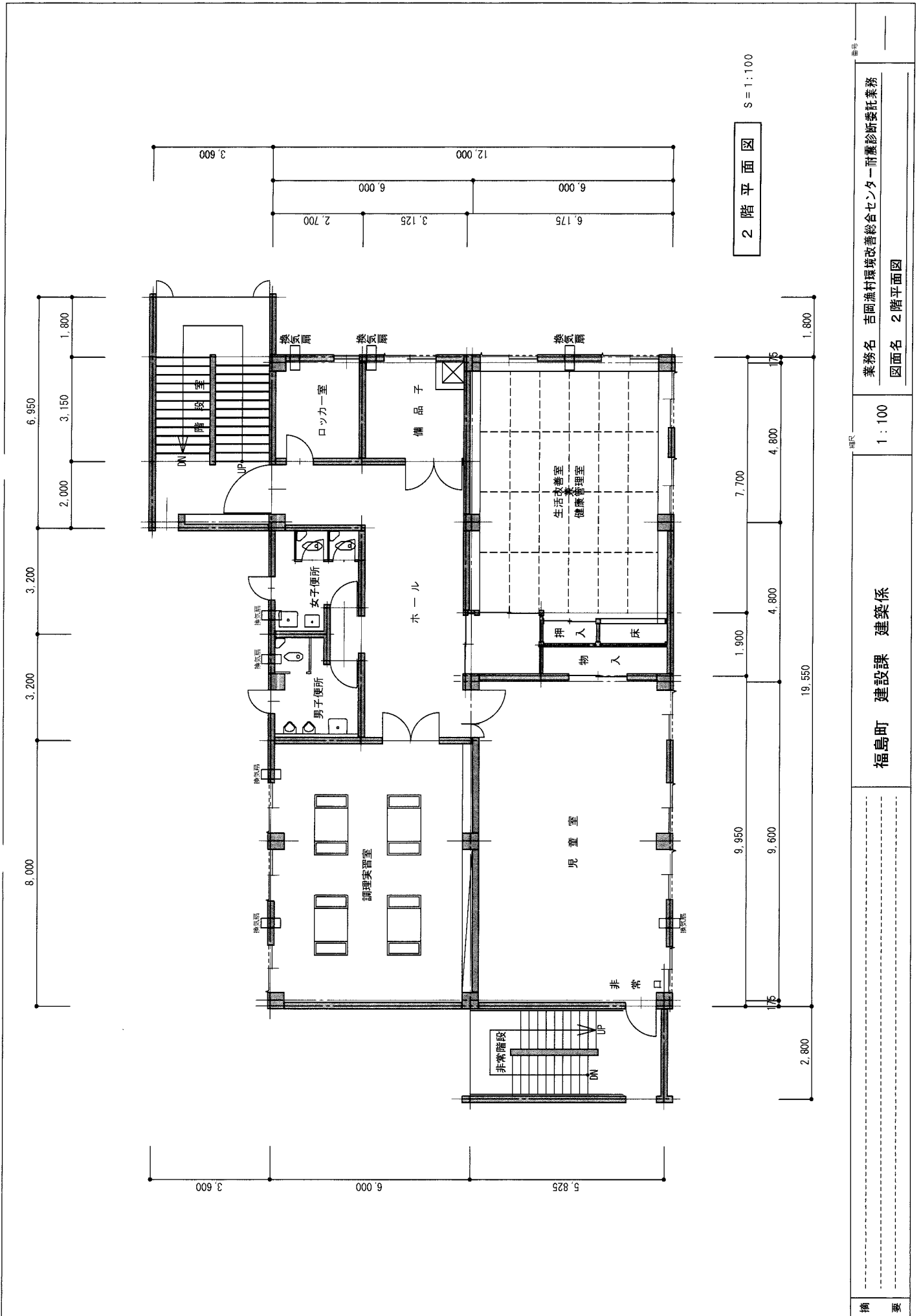
備 要

福島町 建設課 建築係

1:100

業務名 吉岡漁村環境改善総合センター耐震診断委託業務  
図面名 1階平面図

番号



業務名 吉岡漁村環境改善総合センター耐震診断委託業務

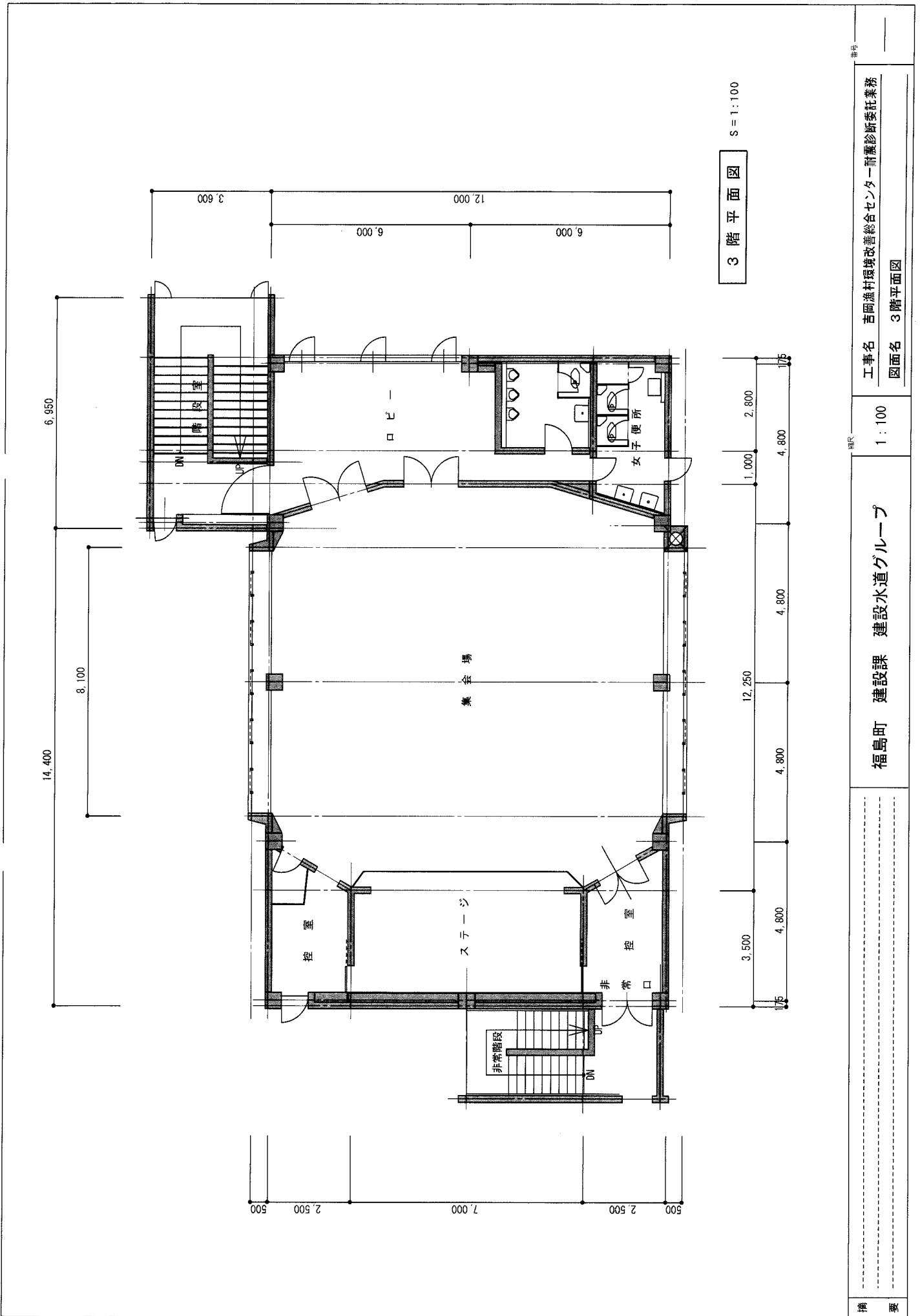
図面名 2階平面図

縮尺 1:100

福島町 建設課 建築係

番号

摘要



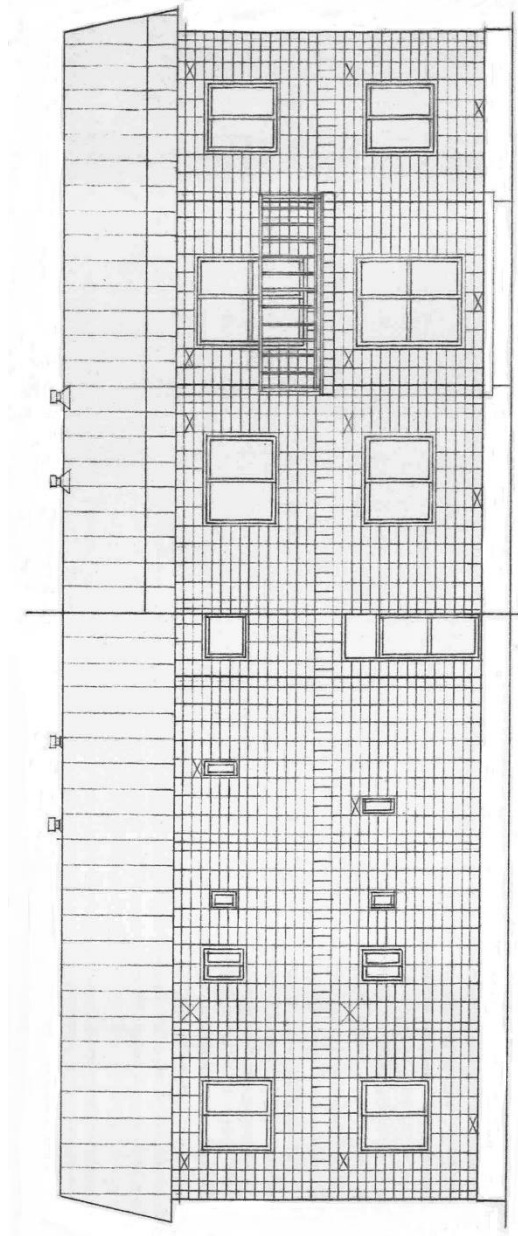
摘要

福島町 建設課 建設水道グループ

1 : 100

工事名 吉岡漁村環境改善総合センター耐震診断委託業務  
図面名 3階平面図

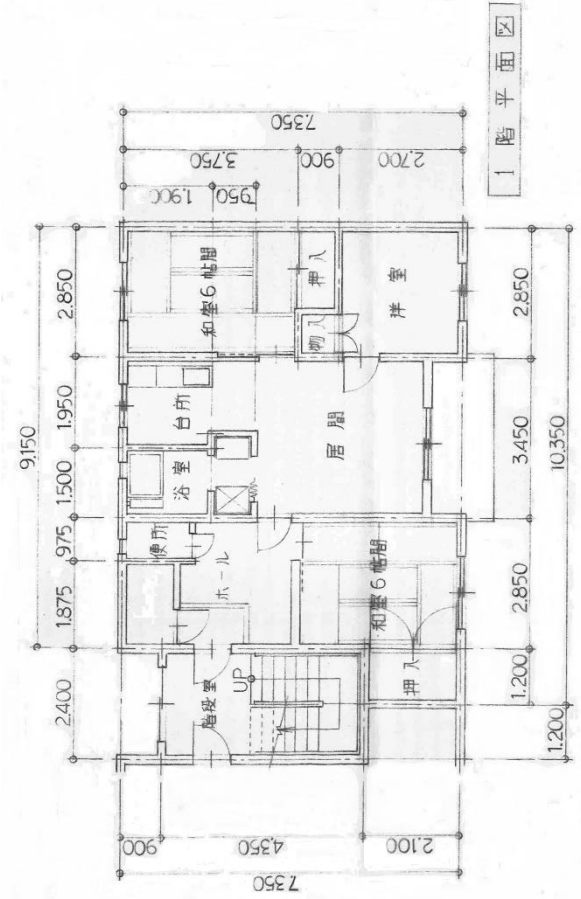
埋蔵文化財保管施設改修工事（美山教員住宅）



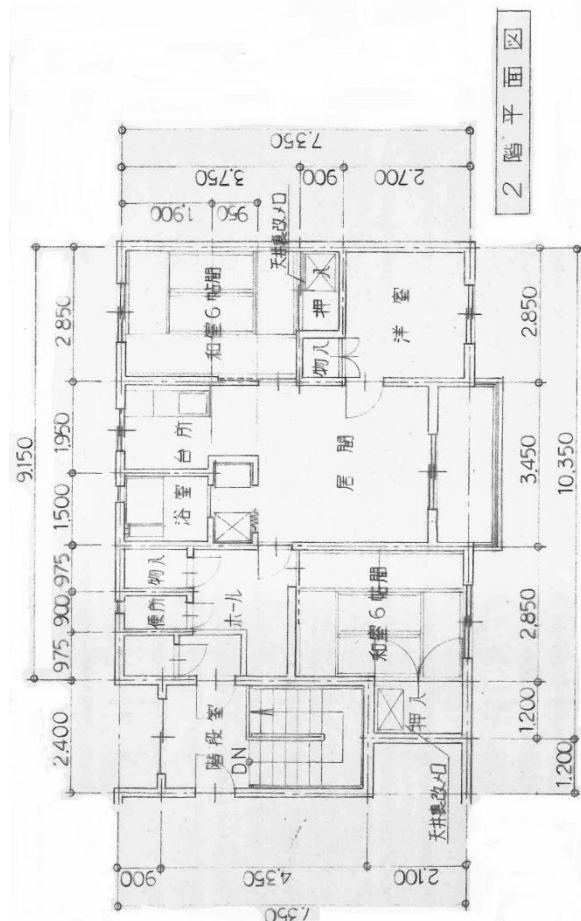
(南面)

立面図

(北面)

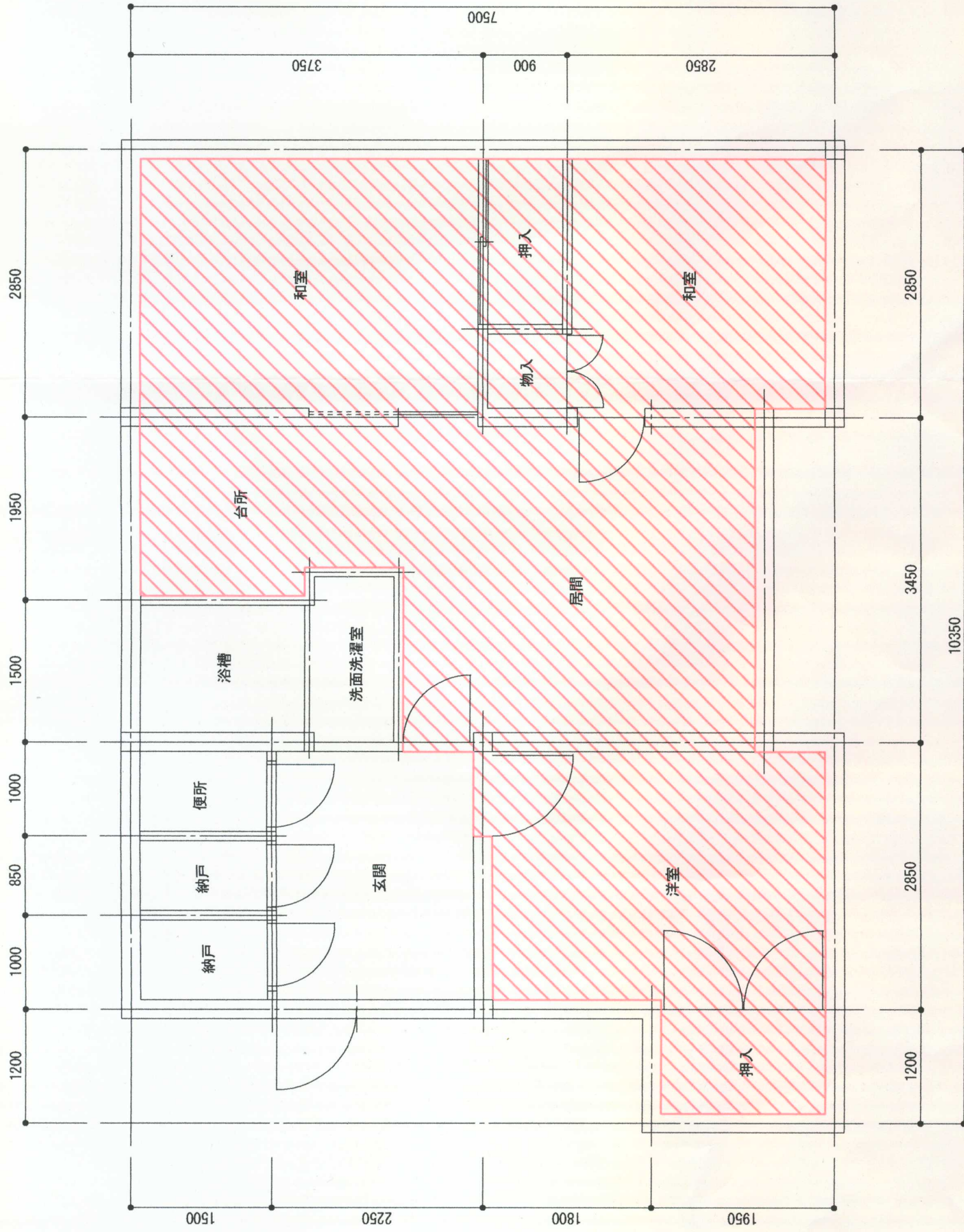


1階平面図



2階平面図





工事概要

- ① 1階床改修
  - ・床仕上げ、下地撤去
  - ・撤去後、土間コンクリート打設 (厚さ10cm)
- ② 2階床改修
  - ・床仕上げ補強 (既存床上部コンパネ張り)

縮尺

番号

摘要

-----  
 -----  
 -----

福島町 建設課 建築係

図示

工事名 埋蔵文化財保管施設改修工事

図面名 平面図

## 2 執行方針の取り組み状況

令和5年10月31日(火)

施策の内容	確認内容等	担当課
次世代を担うリーダー等の養成	(1)各大学・企業との包括連携の状況について	企画課
産業の再生による雇用の創出	(1)チャレンジスピリット応援事業の実施状況について	企画課
	(2)ふるさと納税の状況、ふるさと応援基金の活用状況について	企画課
若者の定住対策・子育て環境の充実	(1)定住促進住宅整備プロジェクトの進捗状況について	企画課
高齢者等の安心安全な生活環境の充実	(1)避難所、避難路整備の検討状況について	総務課
第2青函トンネル構想の実現	(1)第2青函トンネル構想実現に係る関係団体等との連携状況について	企画課
学び合い、たくましい人を育てる	(1)福島アカデミーの活動状況について	教育委員会 学校教育係
	(2)ICT教育の実施状況について	教育委員会 学校教育係
	(3)学校給食の町内産米等の使用状況について	教育委員会 給食センター係
	(4)南北海道駅伝競走大会新コースの検討状況について	教育委員会 生涯学習係
	(5)各体育施設の利用者増に向けた取り組みと施設環境の現状について	教育委員会 生涯学習係
	(6)文化財等の保管状況について	教育委員会 生涯学習係



## 1 次世代を担うリーダー等の養成

### (1) 各大学・企業との包括連携の状況について（企画課）

各大学と包括連携協定に基づき令和5年度に実施している産学官連携事業については、北海道水産学部及び公立ほこだて未来大学と福島町における陸上養殖支援システムなどの支援を基本に、個体測定作業の効率化と軽減に向けた研究を進めています。

なお、7月20日には当町において、北海道大学水産学部の准教授及び学生が、陸上養殖アワビの成長に関する研究報告会を開催し、流下堰水槽での養殖環境における、アワビの成長や行動特性、環境影響に関する研究報告をいただいております。

引き続き、各大学が有する専門的な知識・技術・人材等を活用し、当町の課題の解決や産業振興に資する取り組みを推進してまいります。

次に、企業との包括連携協定については、クミアイ化学工業株式会社及び福島町森林組合並びに福島町の三者で締結した包括連携協定に基づき、令和5年度から新たに抑草剤散布に係る効果確認や10月26日には小学5年生を対象に「お米を守る出前講座」などを開催しております。なお、藻場再生に向けた溶融スラグの海中投入試験事業は、11月からの実施に向け準備を進めているところであります。

今後も、包括連携協定に基づき、温室効果ガスの削減や地域資源を活かした産業の振興、自然を活かした子どもたちの学びなど、町の活性化及び課題解決に向けた事業を積極的に展開してまいります。

さらに、人材育成の一環として、「地方創生を推進するための考え方とアイデア」と題し、中央の第一線で活躍している株式会社電通のトランスフォーメーション・プロデュース局のビジネスリード部長を講師に、実践的な若手職員の研修を実施しております。

## 2 産業の再生による雇用の創出

### (1) チャレンジスピリット応援事業の実施状況について（企画課）

令和5年9月末現在におけるチャレンジスピリット応援事業の実施状況については、下記の表のとおりとなっております。申請の内訳は漁業者3件、遊漁船業1件、小売業1件の計5件で、うち新規起業者が3件となっております。

#### 【施設投資助成金指定申請受付状況（令和5年9月末現在）】

区 分	内 容
申請受付件数	5件
施設投資額（実績見込）	25,638,259円
うち町内経済循環分	8,384,750円
助成対象額	24,726,274円
助成交付決定額（助成率：1／2）	10,668,000円

## (2) ふるさと納税の状況、ふるさと応援基金の活用状況について（企画課）

### ①ふるさと納税の状況

令和4年度のふるさと納税の実績は56,410,052円で、令和3年度と比較して約6%の増額となっております。

また、令和5年9月末現在の納税状況は18,101,000円で昨年同時期（14,415,052円）との比較では、25.6%の増となっております。

本年6月に総務省が示した、10月以降の指定基準の見直しにより、全国的に寄付金額等の見直しが行われることとなりました。当町は指定基準内であったため見直しは行っておりませんが、このような背景を受けた9月末にかけての駆け込み需要による増加が主な要因の一つと考えられます。

近年の状況として、これから年末にかけて納税額が増える傾向にあることから、今年度の目標額70,000千円を確保できるよう積極的に取り組みを進めてまいります。

なお、返礼品については、令和5年9月末現在で20事業者、約130品目を用意しておりましたが、現時点では欠品等により約100品目の出品となっており、今年度においても「するめ」が一番人気で多くの寄付者から選ばれている状況にあります。

### ○令和5年9月末現在の月別寄付件数・金額（単位：円）

	窓口		ふるさとチョイス		楽天		ANA	
	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	14,000	46	839,000	146	1,733,000	8	94,000
6月	0	0	37	610,000	158	1,754,000	4	56,000
7月	1	14,000	36	641,000	148	1,694,000	5	85,000
8月	1	39,000	52	731,000	167	1,862,000	8	127,000
9月	1	100,000	119	1,864,000	475	5,148,000	11	240,000
計	4	167,000	290	4,685,000	1,094	12,191,000	36	602,000

	JR東日本		JAL		イオン		合計	
	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	201	2,680,000
6月	0	0	0	0	0	0	199	2,420,000
7月	0	0	0	0	0	0	190	2,434,000
8月	2	28,000	0	0	0	0	230	2,787,000
9月	4	75,000	12	270,000	4	83,000	626	7,780,000
計	6	103,000	12	270,000	4	83,000	1,446	18,101,000

※4月は、ふるさと納税運用業務委託先の変更により、ふるさと納税の受付を停止しています。

## ○寄付件数の多い返礼品目

(単位：円)

順位	返礼品	件数	寄付金額
1	するめ刻み あたりめ 2パックセット (吉田商店)	263	1,052,000
2	横綱するめ 3～4号 15枚セット (吉田商店)	255	4,335,000
3	前浜するめ 小ぶりサイズ 7枚入り (新山商店)	247	1,235,000
4	大羽するめ 4～5号 15枚セット (新山商店)	215	4,300,000
5	大羽するめ 10～11号 4枚セット (新山商店)	138	1,932,000

## ②ふるさと応援基金の活用状況

令和4年度末のふるさと応援基金の残高は、下記の表のとおりとなっております。

ふるさと応援基金については、当該年度にふるさと納税で寄付された全額を一旦積み立てし、寄付金の募集に係る経費に充てるため経費相当額を基金から支消して充当しております。

ふるさと応援基金の活用については、令和5年度より産業振興を含めて総合的なまちづくりの財源に有効活用しており、コンブ養殖省力化検討計画策定事業費や岩部地区等活性化基本構想策定事業費、給食費無償化の財源等に充当しております。

(単位：円)

令和3年度末 現在高	令和4年度中増減高			令和4年度末 現在高
	積立金	支消金	差引	
71,070,000	56,972,000	27,969,000	29,003,000	100,073,000

## 3 若者の定住対策・子育て環境の充実

## (1) 定住促進住宅整備プロジェクトの進捗状況について (企画課)

定住促進住宅整備プロジェクトについては、令和4年度に宅地造成(12区画)を終えており、今年度は令和6年度の住宅建設に向け、現在、基本設計・実施設計業務を実施しております。

今後のスケジュールについてですが、令和6年度以降順次、住宅建設を開始する計画でしたが、ここ数年大型事業が続いており、また、資材高騰などにより事業費も増加したことから、事業費の平準化等を図る必要があると判断しており、これらの要因を踏まえて令和6年度は1戸の建設計画とし、以後、総合計画のローリング作業において計画の見直しを予定しております。

なお、事業の実施にあたっては、脱炭素社会の実現に向け町が率先して取り組む姿勢を町民へアピールする必要があり、建設する住宅にあっては、高気密かつ再エネを組み合わせた省エネルギー住宅(北方型住宅ZERO)を建設することとし、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

#### ※今後のスケジュール

年 度	内 容
令和5年度	・実施設計業務委託
令和6年度～	・住宅整備開始（住宅完成後、順次入居開始） ・定住促進住宅管理条例の制定 ※令和6年度福島町議会定例会3月会議において上程

## 4 高齢者等の安心安全な生活環境の充実

### (1) 避難所、避難路整備の検討状況について(総務課)

当町は、国の日本海溝・千島海溝地震特別措置法に基づく津波対策を特に強化すべき地域として、特別強化地域に指定されております。

当該地震による人的被害を最小限に抑えるためには、津波からの防護、円滑な避難の確保が課題となっているところであります。

当町においては、令和5年2月に防災マップを改定し「津波基準水位」、「高台の避難適地」、「津波一時避難所」等を示し迅速に避難ができるよう、周知に努めるとともに、全町を対象とした避難訓練や町内会単位での避難訓練を行い、災害発生時の迅速な避難に備えているところでもあります。

なお、現在、防災マップに示している「高台の避難適地」等については、冬期間の積雪時における避難路の確保が課題となることから、積雪による避難障害が生じないよう積雪対策について情報収集に努めている状況にあります。

また、避難先において数時間滞在が可能となるよう、飲料水、食料品をはじめ避難に必要な備蓄品を保管できる備蓄コンテナの設置についても、先進事例などの情報収集に努めており、避難路等の整備にあたり、どのような整備手法が良いのかを含め、令和6年度において調査業務の必要性についても併せて検討を進めている状況となっております。

## 5 第2青函トンネル構想の実現

### (1) 第2青函トンネル構想実現に係る関係団体との連携状況について(企画課)

第2青函トンネル構想の実現に向けた取り組み状況について、これまで北海道側を中心に活動が展開されておりましたが、7月26日に青森県今別町において、第2青函トンネル構想実現に向けた今別町推進会議が設立されるなど、徐々にではありますが青森県側においても広がりを見せ始めております。

なお、当設立総会後の記念講演では、当町の第2青函トンネル構想を実現する会の活動状況や道内の政治状況などを報告させていただいたところであります。

今後、今別町と当町が青函連携を深めることで、青森県側での機運醸成が図られることを期待するとともに、第2青函トンネル構想の早期実現に向けた活動の積極的な推進を図ってまいります。

また、10月5日に包括連携協定を締結した青森県中泊町とも、第2青函トンネル構想の実現に向けた取り組みについても、連携を図っていくことを確認したところであります。

国及び道等への要請活動について、これまで第2青函トンネル構想を実現する会を立ち上げてから新型コロナウイルス感染症が全国にまん延し、要望活動が中々できない状態が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症が5月8日に5類に位置づけられ、要請活動の環境が整いましたので、10月24日から25日にかけて、富原北海道議会議長、鈴木北海道知事に対して、実現する会の溝部副会長、石岡副会長とともに要望活動を実施したところであります。

なお、11月2日には青森県今別町において、第2青函トンネル構想の早期実現を目指す特別講演会が開催されますので、実現する会からも参加を予定しているところであります。

今後は、国及び北海道選出の国会議員などへ積極的に要請活動を展開してまいります。また、青森県今別町や中泊町と連携し、青森県庁への要請活動などを展開し、構想実現にむけた機運の醸成に努めてまいります。

## 6 学び合い、たくましい人を育てる

### (1) 福島アカデミーの活動状況について（教育委員会学校教育係）

昭和31年に組織された福島町教育研究所を「福島アカデミー」に名称を改め、学校保健会、複式教育研会など細分化されていた14組織を、4つの部会に再編統合することにより、業務の効率化を図り、教職員の働き方改革につなげようとするものです。

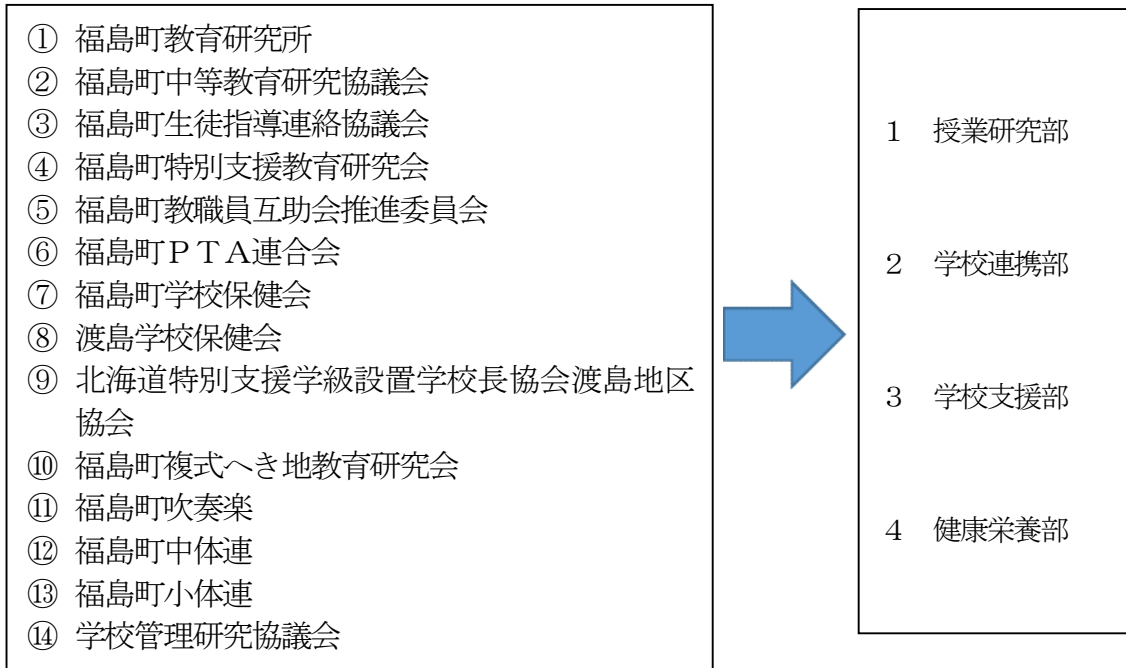
令和5年4月28日に福島中学校で設立総会が開催され、福島町の教育実践や研修の充実を目指し、教育活動の交流連携や研修を通して、教育諸課題の解決に向けた教職員の資質向上を図り、次代を担う子供たちの育成を推進することが確認されました。

また、14団体の旅費や消耗品などの費用が共通化されたことにより、令和4年度予算に比べ町予算を2/3程度に縮減しております。

ア) 再編統合の流れ

【令和4年度まで】

【令和5年度以降】



イ) 組織図





## (2) ICT教育の実施状況について（教育委員会学校教育係）

当町では平成30年度に一人一台端末を導入し、コロナ禍が始まった令和2年度より学習支援アプリの「e-ライブラリ」を導入するとともに、ICT支援員を配置し、毎週金曜日に各小中学校に派遣しているところです。

7月26日には教職員向けにe-ライブラリ活用研修会を開催し、一層の効果的な活用を推進しております。

また、6月10日から9月10日まで計6回、プログラミングクラブを実施し、小中学生18名が参加しております。夏季休業中の8月16日から18日までの3日間、集中的な講座を開設し、11名が参加したところですが、下半期も同様に計画しているところです。

なお、高校の魅力化向上の支援として、小中学生と同じくICT支援員を毎週金曜日に派遣するとともに、ノートパソコン及びドローンサッカー用品を無償貸与しているほか、ドローン資格取得費の助成も計画しているところです。

## (3) 学校給食の町内産米等の使用状況について（教育委員会給食センター係）

農産物については、しいたけは、収穫量の少ない8～11月を除き仕入しているほか、ブルーベリー、トウモロコシなど、できるだけ旬の時期の食材活用に努めております。

水産物については、ホッケ（すり身） やいか（とんび）をはじめ、漁協及び町から無償提供いただいているウニ、養殖アワビを活用したメニューを提供し、子供たちに喜んでいただいております。

令和5年度の町内産の収穫・仕入時期は次のとおりです。

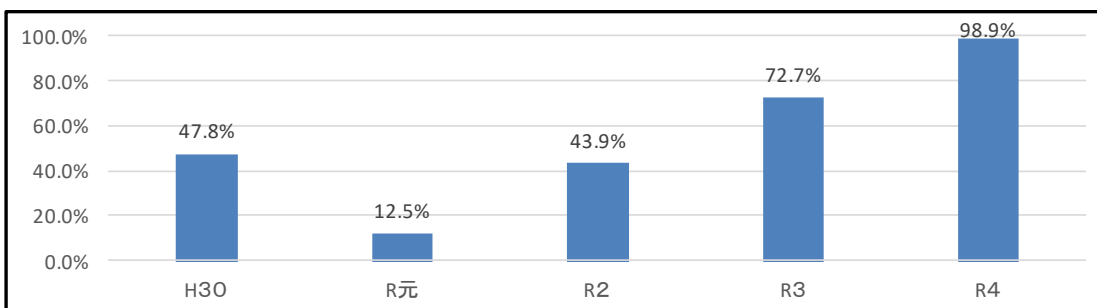
【RE年度 町内産品の収穫・仕入時期】※10月以降は予定

食材名 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
白米	○		○									
黒米	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
にんじん												
ジャガイモ												
キャベツ												
きゅうり												
さきげ												
しいたけ	○	○	○	○								
ブルーベリー												
トウモロコシ												
ノカ(とんび)												
タコ												
ウニ												
ホッケ(すり身)												
養殖のわび												

① 網掛けの月が主な収穫時期

② ○印が仕入れた月

また、精米については、令和3年度に国の補助を活用して840kg入る保冷庫を購入し、米農家の協力を頂きながら安定して学校給食に使用できるようになったことから令和4年度の町内産の使用割合は98.9%となっており、令和5年度も9割以上を見込んでおります。



地場産物の使用割合は、2年に1回（6月、11月の各5日間）、使用食品数に占める地場産物（北海道産）の食品数の割合を1年間の平均として算出するトレンド調査になりますが、令和5年6月の当町の状況は、54.7%で、前回（令和3年6月）と比較して3.6%高くなっております。

また、地域（市町村産）での使用割合は、13.2%で、前回と比較して7.5%高くなっているところです。

区分	R3年6月①		R3年11月②		R3年度平均		R5年6月④		比較 (④-①)	
	道内	地域	道内	地域	道内	地域	道内	地域	道内	地域
全道	43.8 %	4.8 %	52.7 %	43.8 %	48.2 %	43.8 %	(未公表)		—	—
福島町	51.1 %	5.7 %	52.7 %	7.5 %	51.9 %	6.6 %	54.7 %	13.2 %	+3.6 %	+7.5 %

注) ①地域は、市町村内の産物

#### (4) 南北海道駅伝競走大会新コースの検討状況について（教育委員会生涯学習係）

駅伝の新コースの検討については、令和4年8月25日に松前警察署長が来庁し、大会実行委員長であります町長に交通安全上の問題でコース変更を強く申し入れされました。

町長からは、今までの歴史あるコースと沿道の声援を送ることができなくなるなど、町側としての認識を要望したところですが、協議は平行線となり、2ヶ月後に控えている大会のポスター及びリーフを発注していることから、とりあえず令和4年度は現状のままですとすることで開催した経緯があります。

その後、令和4年11月14日に開催しました松前警察署と事務局の検証結果の打合せを踏まえ、警察との協議を重ねながら、最終的には、令和5年6月9日の実行委員会で新コースを決定したところです。

なお、スタート地点（総合体育館裏）、ゴール地点（総合体育館前）は変更ありません。

【新コース】

① 4区間:小学生ショート 6.7km (小学男女)

区	距離	区 間
1	1.5km	S⇒福島小手前⇒すずらん通⇒役場車庫前⇒総体裏
2	1.5km	同 上
3	1.5km	同 上
4	2.2km	S⇒福島小手前⇒すずらん通⇒役場車庫前⇒ローソン横⇒交番前⇒G

② 4区間:ショート 10.3km (中学男女・高校女子・一般女子・一般男子 45歳以上)

区	距離	区 間
1	2.4km	S⇒ビーチ前⇒すずらん通⇒役場車庫前⇒総体裏
2	2.4km	同 上
3	2.4km	同 上
4	3.1km	S⇒ビーチ前⇒すずらん通⇒役場車庫前⇒ローソン横⇒交番前⇒G

③ 4区間:ロング 19.1km (高校男子・一般)

区	距離	区 間
1	5.3km	S⇒ビーチ前⇒浦和生活館折り返し⇒塩釜干場前
2	5.1km	塩釜干場前⇒すずらん通⇒熊野神社下折り返し⇒塩釜干場前
3	5.1km	塩釜干場前⇒浦和生活館折り返し⇒すずらん通⇒森林公園前
4	3.6km	森林公園前⇒役場車庫前⇒ビーチ前⇒すずらん通⇒ローソン横⇒交番前⇒G

(5) 各体育施設の利用者増に向けた取り組みと施設環境の現状について

(教育委員会生涯学習係)

各体育施設については、利用団体及び学校との連携を図りながら、各施設の利用者に向けた取り組みを進めているところですが、令和4年度の管理運営形態並びに利用状況は次のとおりとなっております。

区 分	開 館	休 日
総合体育館 (開館期間) 4月1日～3月31日	午前9時～午後9時	月曜日 12月30日～1月6日まで
町民プール (開館期間) 7月1日～9月30日 ※1	火曜日～土曜日	月曜日
	午後1時～午後4時50分 午後6時～午後7時30分 ○午前中は、学校授業で利用	
	日曜・祝日	
	午前10時～午前11時50分 午後1時～午後4時50分	
パークゴルフ場 (開場期間) 4月28日～11月6日 ※2	午前9時～午後6時	第1・第3月曜日 休日の翌日
新緑公園ナイター	午後6時～8時30分	

※1 町民プールの利用期間については、新型コロナウイルス感染対策及び燃油等の高騰や近年の利用実態を勘案して、7月1日からの開館としています。また、平日の利用時間については午後からの開館とし、終了時間も1時間縮小しております。

※2 パークゴルフ場の開場並びに閉場については、パークゴルフ協会と協議した上で、日程を変更しております。

令和5年度上半期の利用者は、5月8日の新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された関係もあり、全ての施設で増加し、4施設の利用者は、前年比で3,150人となっております。

また、町民プールについては、新型コロナウイルス前の令和元年度から比べると、利用者人数が454人減少となっておりますが、運営形態を変更した後の令和5年では開館日数に対し利用者数が新型コロナウイルス前に比べ、1日当たりの利用者数が上回っております。

区 分	R元年度	R4年度			R5年度	
		上半期	下半期	計	上半期	前年比
総合体育館	17,453人	4,854人	6,771人	11,625人	6,907人	2,053人増
町民プール	※2,404人	1,338人	—	1,338人	1,950人	612人増
パークゴルフ場	4,189人	1,450人	585人	2,035人	1,730人	280人増
新緑公園 ナイター	1,752人	1,025人	430人	1,455人	1,230人	205人増
計	25,798人	8,667人	7,786人	16,453人	11,817人	3,150人増

※新型コロナウイルス蔓延前の令和元年度の利用者数2,404人／105日に対し、令和5年度の利用者数1,950人／75日となっており、1日当たりの平均利用者数で見ると、令和元年度の22人に対し、令和5年度は26人となり、4人の増加となっております。

施設環境の現状は、総合体育館で46年、町民プールで26年、パークゴルフ場で24年、新緑公園で35年が経過しておりますが、各施設とも状況に応じて、設備更新や補修等を行いながら、利用者が安心して施設を利用できる環境を維持しているところです。

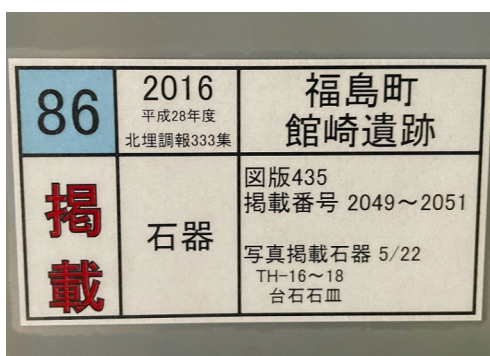
#### (6) 文化財等の保管状況について（教育委員会生涯学習係）

平成28年度より北海道埋蔵文化財センターより受け入れました埋蔵文化財については、チロップ館及び吉岡支所で一部展示をしております。

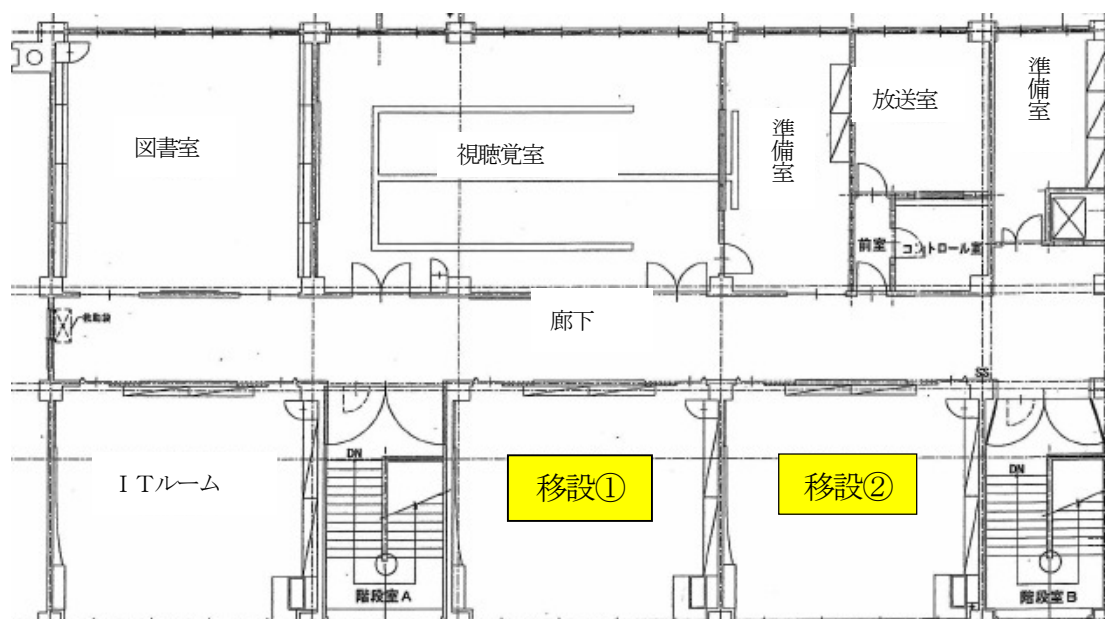
一方、長年の課題となっております吉岡漁村環境改善総合センター（旧吉岡支所）に保管している埋蔵文化財の移設に関しては、令和5年5月29日付けで道教委を通じて文部科学省に財産処分報告書を提出しては、9月11日に道教委と提出書類の審査を終えた旨、確認できたところです。

これを受けて、旧吉岡支所からの移設先は、吉岡小学校3階の空き教室2部屋と旧美山教員住宅で決定となったところです。旧美山教員住宅の改修工事については、10月3日に見積合わせを行い、11月30日までの間で工事を行う予定であり、その後、12月中旬頃まで移設を進める計画であります。

また、吉岡小学校の空き教室には、吉岡小学校が振替休業となる10月16日と11月13日に町職員で移設を行う予定となっております。



ア) 吉岡小学校3Fの移設先



・部屋の広さ  $(8\text{m} \times 7.3\text{m} = 58.4\text{m}^2) \times 2\text{部屋} = 116.8\text{m}^2$

イ) 旧美山教員住宅の改修工事

- ①工 事 名 埋蔵文化財保管施設改修工事
- ②工事場所 福島町字吉岡319番地3
- ③工 期 令和5年10月5日から11月30日まで
- ④工 事 費 1,969千円
- ⑤工事内容 1階床改修 (床を解体し土間コンクリート打設/厚さ:10cm)  
2階床補強改修 (既存床上部コンパネ張り)

●旧美山教員住宅の施設概要

- ・建設年度 平成5年度 (5年以上入居者無)
- ・構 造 木造2階建 (4戸)
- ・延床面積  $240\text{m}^2$



【工事初期の状況】



旧吉岡支所の現在の保管状況と移設計画（案）は、次のとおりです。

吉岡漁村環境改善総合センター・埋蔵文化財移設計画（案）

現収蔵場所	遺物内容	箱種別	箱数	小計	移設先(予定)	備考
吉岡漁村センター 2階 (一部1階廊下)	館崎遺跡① 土器・石器・動物骨など	段ボール	11	454箱	吉小3階 普通教室 454箱	↑ 優先度 高
		青色大型コンテナ	165			
		深さ15cmコンテナ	44			
		深さ20cmコンテナ	9			
		深さ10cmコンテナ	1			
		深さ10cmコンテナ	7			
		深さ15cmコンテナ	1			
		深さ5cmコンテナ	6			
		深さ5cmコンテナ	3			
		深さ10cmコンテナ	4			
		深さ15cmコンテナ	16			
		深さ20cmコンテナ	5			
		深さ5cmコンテナ	15			
		深さ5cmコンテナ	1			
		深さ10cmコンテナ	21			
		深さ15cmコンテナ	3			
		深さ15cmコンテナ	3			
		深さ10cmコンテナ	1			
		深さ15cmコンテナ	10			
		深さ20cmコンテナ	4			
		深さ15cmコンテナ	2			
		深さ5cmコンテナ	3			
		深さ10cmコンテナ	2			
		深さ15cmコンテナ	6			
		深さ10cmコンテナ	24			
		深さ15cmコンテナ	53			
深さ20cmコンテナ	7					
深さ10cmコンテナ	11					
深さ15cmコンテナ	6					
深さ20cmコンテナ	2					
深さ15cmコンテナ	8					
吉岡漁村センター 3階	館崎遺跡② 土器・土製品	深さ15cmコンテナ	1218	1,229箱	吉小3階 普通教室 840箱 旧教員住宅1階 389箱	↓ 優先度 低
		深さ20cmコンテナ	3			
		青色大型コンテナ	4			
		深さ10cmコンテナ	4			
吉岡漁村センター 1階	館崎遺跡③ 石器・礫	深さ10cmコンテナ	206	1,444箱	旧教員住宅1階 800箱 旧教員住宅2階 944箱	
		深さ15cmコンテナ	297			
		深さ15cmコンテナ	218			
		深さ20cmコンテナ	14			
		木枠	10			
		深さ15cmコンテナ	678			
深さ20cmコンテナ	19					
吉岡漁村センター 廊下・階段	その他遺跡	深さ15cmコンテナ	300	300箱		
		木枠	2			
合計				3,427箱		

### 3 工事等一覧表

総務課

単位：千円

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	着工／完成
1	月崎2町内会館トイレ改修工事	会館内トイレの洋式便器への改修	3,938	土門建設	着手 R5. 9. 8 完了 R5. 12. 29
2	松浦・吉野町内会館トイレ改修工事	会館内トイレの洋式便器への改修	3,113	澤田建築木工	着手 R5. 9. 11 完了 R5. 12. 29
3	白符ふれあいセンター解体工事	木造平屋建て 延床面積：559.71 m <sup>2</sup>	8,316	有限会社創拓建設	着手 R5. 10. 2 完了 R6. 1. 31

教育委員会

単位：千円

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	着工／完成
1	埋蔵文化財保管施設改修工事	1階床改修（床を解体し土間コンクリート打設厚さ：10cm） 2階床補強改修（既存床上部コンパネ張り）	1,969	柏崎工務店	着手 R5. 10. 5 完了 R5. 11. 30